

女川原子力発電所2号機における保安規定に定める
運転上の制限¹を満足しない事象について

当社女川原子力発電所2号機（沸騰水型、定格電気出力82万5千kW：宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）については、定格熱出力一定運転中ではありますが、昨日（7月6日）午前11時10分、中央制御室において制御棒駆動水圧系アキュムレータ²圧力の低下を示す警報が発生いたしました。現場確認をしたところ、137本ある制御棒のうち1本にアキュムレータ圧力の低下が確認されました。当該制御棒については、保安規定第22条に定めるアキュムレータ圧力を確保できないことから、午前11時16分に運転上の制限を満足しないと判断いたしました。

アキュムレータ圧力の低下の原因は、当該アキュムレータの部品であるラプチュアディスク³から窒素ガスが抜けたためであることがわかりました。その後、当該部品を交換し、アキュムレータ圧力が通常値に復旧したことを確認したことより、午後6時16分に運転上の制限内に復帰いたしました。

なお、本事象による発電所周辺への放射能の影響はありません。

以上

1 運転上の制限

保安規定では原子炉の運転状態に応じ、「運転上の制限」などが定められており、満足しない場合には、要求される措置に基づき対応することとなっている。

保安規定第22条は、制御棒の緊急挿入時間やアキュムレータの圧力について定めたもの。

2 制御棒駆動水圧系アキュムレータ

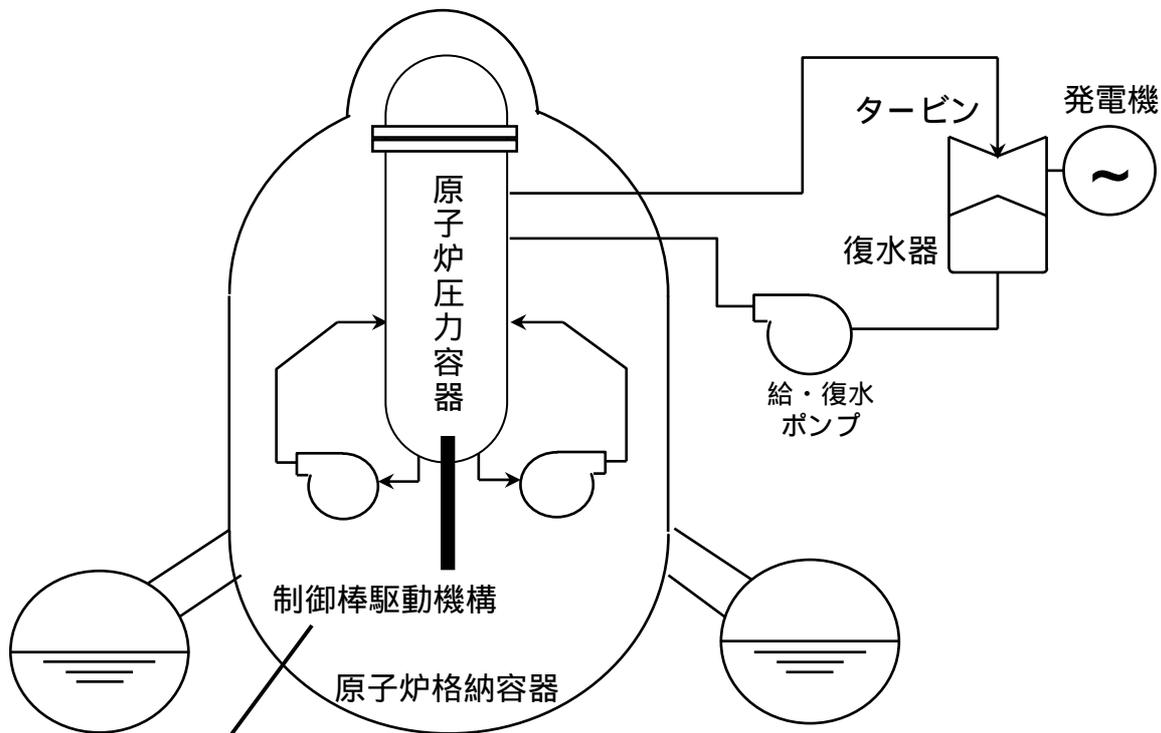
緊急時に速やかに制御棒を挿入するために、高圧窒素を駆動源としたピストンにより高圧水を供給する設備。

3 ラプチュアディスク

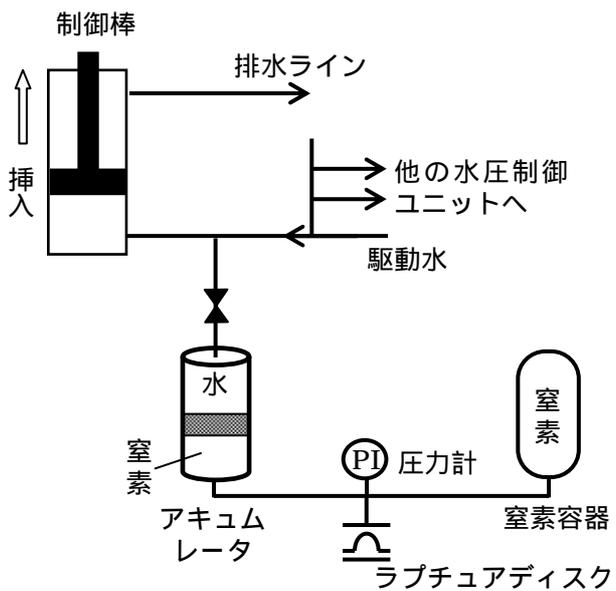
機器の保護のため、内圧が一定以上に上昇した際に内圧を逃す部品。

【別紙】

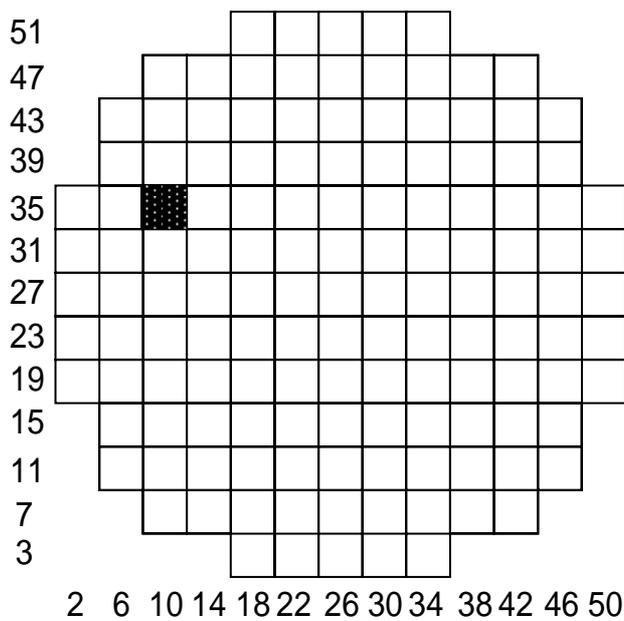
系統概略図



系統概略図



制御棒駆動機構
系統概略図



■ : 当該制御棒
制御棒位置 (原子炉を上から見た図)